

鳥 取 大 学 エ ッ ジ

EDGE

Talk

T O R I D A I E D G E

宇宙×科学×社会

私たちは意識するかしないかに関わらず、様々な製品・サービスを介して科学・技術を利用しています。また、私たちの生活に今すぐに目に見える形では役に立たないとしても、人類の知識を拡大し、未来をより良いものにするために様々な研究が行われています。こうした研究活動は一見すると私たち一人ひとりの生活からは遠く、「頭の良い誰か」が勝手にやっているように感じられるかもしれませんが、しかし実際には研究活動は政治・経済・社会の影響を強く受けていますし、研究者の間でも協力や駆け引きが活発に行われています。今回のTORIDAI EDGEでは「宇宙開発」と「ゲーム」をキーワードに科学・技術と社会の関わりについて考えます。



知ろう

レクチャー



語ろう

ワークショップ

実施済み

2022.8.5 Fri
18:30-20:30

※3/17に開催した鳥大エッジcafe（レクチャー）に参加してなくても申込は可能ですが、定員を超えた場合はcafeに参加された方を優先し、参加をお断りさせていただく場合がありますのでご了承ください。

（cafeに参加されていない方は当日までにcafeの動画をご覧になっていただきます。視聴方法は後日ご連絡します）

ボードゲーム「PERITUS」を実施

会場：鳥取大学CDL

鳥取大学正門を入ってすぐ、広報センター内1階

定員24名・参加費無料

お申し込みはこちら

右のWEBサイトまたはQRコードからもアクセスできます。
申込締切：2022年8月1日正午まで

<https://bit.ly/toridaiedge20220805>



鳥取大学エッジ
EDGE
TORIDAI EDGE



人が集い、知を結ぶ

TORIDAI EDGE

鳥取大学は平成29年10月に「地域価値創造研究教育機構」を設置し、自治体と連携しながら大学全体で地域を志向した教育・研究・地域貢献を進めることで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図っています。TORIDAI EDGEは当機構の事業の一環として、地域に生活する多様な人々が集う場として企画しました。

通常、TORIDAI EDGE CafeとTORIDAI EDGE Talkから構成されており、TORIDAI EDGE Cafeは興味のあるトピックについて詳しい人から話を聞くことに、TORIDAI EDGE Talkは参加者同士が語り合うことにそれぞれ重点を置いています。この度はTORIDAI EDGE Talkを開催します。

知ろう、わたしたちの世界を



好奇心

聴講

質疑応答

リラックスした雰囲気の中で詳しい人（専門家）から話を聞く場です。現代では多くの知識を簡単に得ることができます。でも、詳しい人から直接話を聞くことで、テレビでは語られない事実を知ることができるかもしれません。インターネット検索ではヒットしない複雑な情報にはじめて出会うことができるかもしれません。
ようこそ、あなたの未だ知らない世界へ。

語ろう、わたしたちの未来を



問題意識

対話

提案

参加した皆さんの対話によって成り立つ場です。今回は、鳥取大学宇宙教育プロジェクトから生まれた独自のボードゲーム教材「PERITUS」を使ったワークショップを実施します。PERITUSは宇宙開発に取り組む研究者になりきってプレイし、宇宙ミッションの実現を体験することで、社会と科学・技術の関係性について考えるきっかけを得ることができます。
語ってください。あなたの言葉で、わたし達の未来を。

実施済み

2022.8.5 Fri 18:30-20:30

場所：鳥取大学CDL
定員24名・参加費無料

「PERITUS」について詳しくはこちら <http://site.icee.tottori-u.ac.jp/tusep/peritus/>

ゲストスピーカー

社会と科学・技術の関係性について考えるきっかけを得ることができるボードゲーム教材「PERITUS」は鳥取大学宇宙教育プロジェクトから生まれました。今回のTORIDAI EDGEはPERITUSの開発者である三浦氏と前波氏をお迎えします。



三浦政司 MIURA Masashi

鳥取大学で実践型の工学教育や地域連携教育に取り組んだ後、JAXA宇宙科学研究所に異動。現在は深宇宙探査用の輸送システムや再使用型ロケットの研究開発などに取り組んでいる。専門はシステム工学、制御工学。

「宇宙開発」と聞くと先端的でカッコいいという印象を持っている人も多いのではないのでしょうか？もちろん華々しい部分もありますが、同時に泥臭い部分や古めかしい場面もたくさんあります。その辺も含めて、皆さんと一緒にお話できればうれしいです。



前波晴彦 MAENAMI Haruhiko

鳥取大学では社会連携および学生教育に従事。2020年より自然科学研究機構で基礎研究と民間企業との橋渡しを行う体制の整備・運用を担当している。専門分野は科学社会学。研究対象は学術知の流通、技術移転、社会対話手法。

「科学や技術は大切だと思いますか」と聞かれたら多くの人が肯定的な答えをされるでしょう。しかし私たちが使える各種資源には限りがあります。科学・技術にすべてを投入するわけにはいきません。優先順位をつけなければなりません。誰が？どのように？

※当日まで体調管理のチェックをお願いします。体調不良の場合は参加を断ります。イベント中は、マスクを着用するなど感染予防をお願いします。※コロナの状況によっては開催を延長・中止する場合がありますのでご了承ください。